

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- リアルタイムOS対応デバッグ機能に関する注意事項

本製品は、コンパイラやエミュレータデバッガなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

1. 該当製品

High-performance Embedded Workshop V.4.09.00 以降

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニュー「ヘルプ」から「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」コマンドを選択すると確認できます。

2. 対象製品

以下のいずれかのデバッガと、いずれかのリアルタイムOSとを組み合わせで使用する場合が対象です。

デバッガ :

- E8a エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 00 以降
- E1 エミュレータソフトウェア V.1.00 Release 00 以降
- E20 エミュレータソフトウェア V.1.00 Release 00 以降
- E100 エミュレータソフトウェア V.1.00 Release 00 以降
- RXファミリ用シミュレータデバッガ V.1.01.00 以降

リアルタイムOS :

- M3T-MR30/4
- M3T-MR30
- MR8C/4

3. 内容

High-performance Embedded Workshopのメニュー「基本設定」から「RTOS」->「OS定義ファイル選択」を選択して開いたOS定義ファイル選択ダイアログボックスで「M3T-MR30/4,MR8C/4」、「M3T-MR30」または「RI600/4」を選択すると、デバッグ中にHigh-performance Embedded Workshopが異常終了する場合があります。

4. 回避策

本問題を修正するパッチプログラムを提供します。

以下のURLから「High-performance Embedded Workshop リアルタイムOS 対応デバッグ機能 更新モジュール」をダウンロードして、インストールしてください。(10月5日から公開予定)

https://www.renesas.com/ecxos_download

5. 恒久対策

High-performance Embedded Workshopの改修予定はありません。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。